

密教図像学会 第36回学術大会

二〇一六年十二月十日(土)
佛教大学宗教文化ミュージアム



9:15 受付開始

10:00 ~ 12:20

金 順子 (大正大学大学院)

「仏陀像における三十二相・八十種好の表現」

中西 麻一子 (佛教大学大学院)

「カナガナハリ大塔に描かれる雪山地方への伝道伝説について」

木村 美保 (大正大学大学院)

「『悲出現と称する修習念誦次第儀軌』(Karunodaya-nāma-bhāvanā-japa-vidhi) の
観想マンダラについて」

伊藤 奈保子 (広島大学)

「インドネシア・ジャンビ州立博物館所蔵の仏像について」

13:50 ~ 16:10

天野 歩 (奈良県立橿原考古学研究所附属博物館)

「<胎藏曼荼羅>最外院の図像学的研究」

森井 友之 (同志社大学大学院)

「勸心寺仏眼仏母如来像・弥勒如来像と宗叡一図像と寺史の検討を通じて」

植村 拓哉 (佛教大学宗教文化ミュージアム)

「法然本地身としての勢至菩薩坐像について—浄土宗美術としての再評価—」

關 信子 (美術史家)

「旧仏性寺阿弥陀三尊像(西蓮寺阿弥陀如来坐像と西光寺観音・勢至菩薩坐像)
について—伊勢平氏の本拠地にのこる平安文化—」

16:20 ~ 総会

18:15 ~ 懇親会

